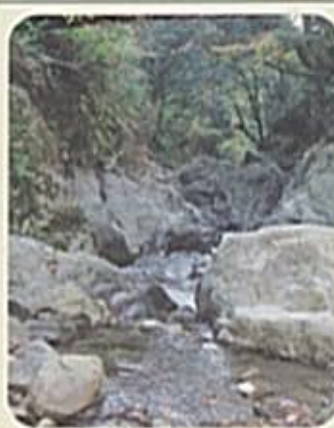


局員発上流域探訪企画

太田川上流域は自然と歴史の宝庫!

太田川全域には、岩にくだける清流、川原、淵、満々たる水、そして美しい自然と歴史、文化、公園など沢山あります。特に、上流域は大きな自然のもと、川と共に歴史文化をつくりあげ、その役目を見事にはたし、古代の森をつくりあげたのであります。

初夏の6月、編集局員で上流域をたずね、その豊かな自然に圧倒されました。是非、大勢でこの景色を見たいという思いがあふれ、今回は、「てくてく太田川第2号」で参加者を募集。応募者の中から、抽選によって当選された方々と共に、取材を兼ねたイベントを11月28日に実施しました。編集局員は、源流・歴史・自然3コースに分かれて、それぞれ企画し、下見などの準備を行いました。以下にその様子を紹介します。(袋井市 渡瀬 備)



特産川の清流

歴史コース

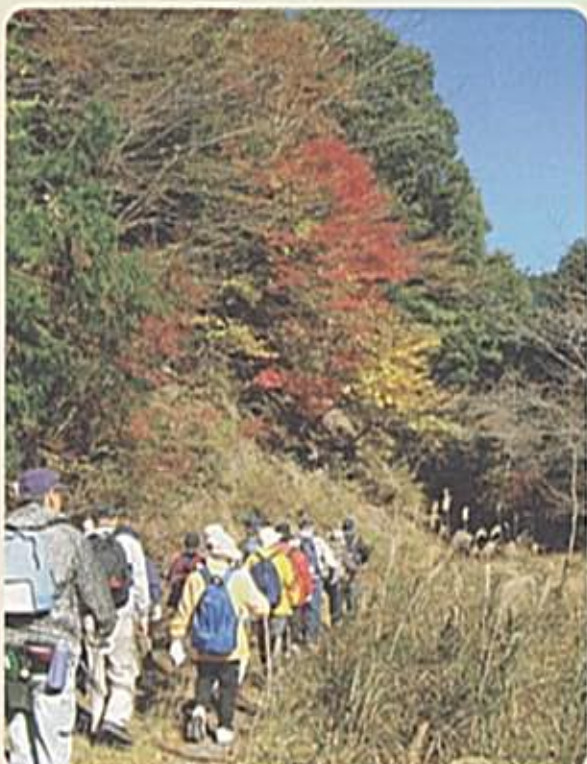
一回目は、行きたい所をそのままにドライブ。二回目で金剛院へあいさつに行き、郷土史家、自然観察のエキスパート、折り紙愛好家、メンバー3人の特色をいかして役割分担。

自然コース

二日前に大雨が降り、水量が心配で、11月3日にコースに組んであったタイラ沢へ下見に出かけた。やはり、道の半分から谷に向けて、7〜8メートル程えぐられており、コースから外すしかないと判断。このことで、自然の脅威を感じながら帰宅。

源流コース

11月4日、鳥居沢口より林道を源流まで下見。6月の時とは、山の色あいが一変。沢音も趣がずいぶん違う。山肌が崩れた箇所や倒木があったが、安全上問題なし。雑草も思ったほどでもなく、当日の天気を皆で折る。



源流に向かって



朝9時、全員集合。澄みきった雲ひとつない青空とピリッと引き締まる冷たさが心地よい晩秋の朝、「おはようございます!」みんなの元気な声とはつらつとした笑顔で3つのコースに出発しました。

太田川情報編集局とは...

「太田川を知ること・みること、お互いに知り合うこと、情報を共有することで、太田川水系に関わる人のつながりをつくらう」という袋井土木事務所の呼びかけにより、昨年より活動しています。「てくてく太田川」の紙面づくりを中心に、流域に根ざした暮らし、光景など様々なコト、モノ、ヒトを見つけだし、広くみなさんに伝えていきます。

平成15年度の活動のあしあと

平成15年12月、私たちの取材活動は福田町の河口から始まりました。そこは多くの野鳥たちが集い富士山が一望できる爽快な美術館のようでありました。中流域では、川向こうとの交流や昔は肥料として奪いあった雑草の事など、人々の生活と融合を学びました。

「てくてく太田川創刊号」
平成16年3月発行

お知らせ

- 太田川情報編集局の「この指とまれウォーク」第1弾**
●掛川市の逆川(さかがわ)を歩こう
日時/平成17年4月17日(日)10時~12時
場所/掛川駅北口ロータリー10時集合
内容/街中の川を歩こう 主催/太田川情報編集局
問合せ先/事務局:袋井土木事務所河川改良課内 tel.0538-42-3289
- もっと知りたいみんなの太田川
日時/平成17年3月19日(土)12時30分受付 13時30分開演
場所/森町文化会館・三軒ホール(大ホール)
内容/講演会、川の生き物やパネルの展示など
主催/問合せ先/(社)袋井青年会議所 tel.0538-43-5011
- 天宮神社十二段舞楽
日時/平成17年4月2日(土)~3日(日)16時~21時 場所/天宮神社
内容/文武天皇の時代に藤原鎌足が神官として着任した際、奉納したのが始まり。12段の舞からなり、町内の若衆により今日まで継承されています。国指定重要無形民俗文化財。
主催/天宮神社・天宮神社十二段舞楽保存会
問合せ先/森町観光協会 tel.0538-85-2111
- さくら通り ウォーキング大会
日時/平成17年4月3日(日) 9:00~12:00(雨天の場合は10日に延期)
場所/袋井市 今井公民館 集合(今井小学校隣り)
内容/太田川沿いの桜を見ながら約6km歩きます。途中、公園で体操なども行います。春を満喫しませんか。
主催/今井自治連合会・今井公民館 問い合わせ/今井公民館 tel.0538-43-3388
- 小園神社十二段舞楽
日時/平成17年4月16日(土)14時~19時、17日(日)11時~20時
場所/小園神社
内容/701年に勧使が奉納した時に舞ったのが始まり。天宮神社の舞楽と共通点が多く、所作は左右一対を成しています。国指定重要無形民俗文化財。
主催/小園神社・小園神社古式舞楽保存会 問合せ先/小園神社 tel.0538-89-7302

- 長藤まつり
日時/平成17年4月24日(日)~5月5日(木)
場所/熊野記念公園周辺
内容/「熊野御前観光大使 藤娘」お披露目、新能、渡船祭りなど(予定)
主催/長藤まつり実行委員会
問合せ先/長藤まつり実行委員会 tel.0538-36-0121
- こいのぼりイベント
日時/平成17年5月5日(木)
4月下旬~5月上旬までこいのぼりが見られます。
場所/ぼうぼ川東橋西側の河川敷
主催/30会(さんまるかい)
問合せ先/大石光泰 tel.0538-55-2339
- 緑と太陽と親子のつどい
日時/平成17年5月8日(日)10時~15時 場所/原野谷川親水公園
内容/親子で楽しめるイベントが盛りだくさんです。
主催/袋井市育成市民会議、袋井市、袋井市教育委員会
問合せ先/袋井市教育委員会 tel.0538-44-3140
- 河川クリーンアップ作戦(環境美化の日)
日時/平成17年6月5日(日)8時~ 場所/太田川水系の河川
内容/ゴミ拾い等の美化活動
問合せ先/福田町役場建設課 tel.0538-58-2378
- 野鳥観察会(予定)
日時/毎月第3日曜日9時30分~12時30分
場所/はまぼう公園野鳥観察小屋
問合せ先/福田町役場建設課 tel.0538-58-2378
- ミニSLの集い(予定)
日時/毎月第4日曜日10時00分~15時00分
場所/はまぼう公園
問合せ先/福田町役場建設課 tel.0538-58-2378

支流との合流点を歩く(三倉川)

森町の中心を抜けた秋葉道は、軒高の低い二階や道路に斜めに建つ家等、古い形を残す城下の街並みを通り元開橋に至る。橋から下流の川原へ、太田川を隔てて天方城跡を望む。目を川に移すと野草に埋る三角の堤。右から太田川(吉川)が青く、左から三倉川が白濁して流れ、ひとつに交わり濃い青となり深みに沈んでいく。近くには関西テレビ「うらばんえ」のロケ地にもなった沈下橋もみられ、今も郷愁を誘う風景を残している。一度立ち寄ってみませんか。

(袋井市 門名親宏)

太田川今昔

三倉川・吉川の合流地点より下流を太田川と呼んでいる。合流地の森町を平安時代から太田郷と言い、太田川は、太田郷より流れ出る川という意味である。

浪曲「森の石松」で流れも清き太田川と唄われ清流に住む鮎・鮎をはじめ鰻・鮎・鯉等の季節の魚の恵み、魚影を見る楽しみはなつかしい思い出である。

かつて東名高速道路より上流は、砂利採取してしまつたので、魚影はほとんど失せてしまった。回復策を考えたい。

(袋井市 北島金三)

ご意見、ご感想をお送りください。また、太田川水系の川に関する情報もあわせて募集しています。太田川情報編集局事務局まで。

太田川情報編集局
青島 勝、安岡美恵子、上原恒雄、上原英子、大石佳典、大杉修次、大杉知子、真藤直美、鈴木和男、鈴木昌子、鈴木心子、福井亨治、(以上袋井市)池野真市、北島金三、門名親宏、下川藤子、下川 紗、鈴木信弘、鈴木敦子、山本龍雄、渡瀬 備、森下和男(以上袋井市)、池田久仁子、大石光泰、大庭 幸、鈴木隆之、寺田英枝、寺田政裕(以上福田町)、岡野良隆、西森啓八、平田克彦(以上森町)、松下三郎(豊田町)

袋井土木事務所 トビックス

緊急防災会議を開催しました

昨年は全国的に台風や集中豪雨等、水害の多い年でした。このため、県では「太田川流域の水害対策を考える」と題して昨年11月14日に緊急防災会議を開催しました。鉢嶺猛静岡気象台長による近年の気象災害についての基調講演、首長や七夕豪雨の体験者・行政関係者らによるパネルディスカッションが行われました。地域水防力の強化が必要といった意見が出され、災害への危機意識を高めました。500名の会場はほぼ満席となり、流域住民の関心の高さが伺えました。

(袋井土木事務所 小林大輔)

七ヶ瀬川のパネル展示

発行:平成17年3月1日発行
静岡袋井土木事務所
〒437-0042 袋井市山名町2番の1
Tel.(0538)42-3289 Fax.(0538)43-0919
Eメール fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp
ホームページ http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/fukuro/
編集:太田川情報編集局
(事務局:袋井土木事務所河川改良課内)

源流コース

ウォーキングで源流を探る。自然観察指導員からいろいろな話が聞けた。

自然の恵みに感謝

太田川下流に住む私にとって、源流を訪ねる今回の企画は、好奇心をかきたてる特別なものがあった。当日は、自然観察指導員や県有林保全担当の方々に同行してもらったことで、さらに興味深い一日となった。参加者からも、多くの感想を寄せていただいたので、おひとりの寄稿文を紹介する。

「そこに太田川があった、水が豊かに流れていることが当たり前かと思ひ、それ以上考えてもみなかった私が、今回太田川源流を目指す機会に恵まれて参加。カサコソと枯葉を踏みしめ、小鳥のさえずり、沢の流れを耳にして、赤や黄にか



らだまで染まりそうな木々の紅葉に包まれた鳥居沢を歩くこと一時間。森林は自然のダム、木の働き、川の水量の調節、森の生き物へ住家を与え、人には材木や癒しの場を提供してくれる等々を伺い、森林保安の苦年のように自然災害の多い時に、森林や河川のことを改めて見つめ直すよい学習の場を提供していただいたことに感謝。 酒井貞江

参加者それぞれの想いを受け、自然の中で我々も生かされていることを悟る一日となった。

〔福田町 鈴木隆之〕

鳥居沢の自然

自然観察指導員 中山高志

太田川の源流のひとつ鳥居沢は、大日山に降った雨を集め、森林によって浄化された清らかな流れとなります。その沢を囲むように多くの木々が繁り、四季を通して美しい姿を見せてくれます。

特に秋の紅葉の季節にはカエデの仲間を中心に様々な色に彩られます。赤、黄、緑のグラデーションが美しいイロハカエデ、黄色に色づくイタヤカエデ、鮮やかな紅葉を見せるコハウチワカエデ等々。カエデの他にも美しく黄葉するダンコウバイ、それを引立てる周りのスギやヒノキの緑。モミの大木や、大きなドングリを实らせるアカガシも大きく枝を広げています。様々な木々は多くの昆虫を養い、多くの動物や野鳥のすみかになり、豊かな自然を育んでいます。



源流見つけた！



金剛院にて講義さんのお話を聞く

太田川をひとまたぎ

～上流探訪～

観たいところ、行きたいところ見所がいっぱいの上流域。局員の得意技や興味を生かして3コースを訪ねました。どのコースも大きな自然に抱かれ元気をもらえた心豊かな晩秋の一日でした。

大日山金剛院を訪ねて

鬱蒼と茂る樹齢二、三百年の杉並木の尾根をマイクログラスで登ると山岳寺大日山金剛院の聖域だ。文化財の山門、仁王像を郷土史に詳しい北島三編集局員の説明もあり、雲山の雰囲気につきりフレッシュして進むと、視界が開け、本堂、客殿、八角堂と立ち並ぶ。客殿にて大橋諒真さんの法話を拝聴。七十八歳とはお見受けできないつやのある柔和なお姿、最後まで座布団も敷かない正座でのご高話、身が引き締まりました。檀家を持たない修験寺の厳しさや柴燈護摩供養、建築美を誇る八角堂と大聖歡喜天の不思議なご利益、天狗の繁昌坊、真言宗の祖 弘法大師様などのお話、客殿に掲げられた額、掛け軸、屏風などの経典、仏教の名句を通しての真理の言葉の拝聴。心が洗われ時のたつのも忘れてしまいました。



木組みが美しい山門

〔磐田市 上原恒雄〕

自然コース

美しい椋地川の溪谷に沿って秋の清らかな自然を訪ね歩きました。

渓流と紅葉を歩く 一五〇〇歩

自然コースは、予定していたタイラ沢までのコースが、度重なる豪雨で山道が崩落し、急遽吉川橋からエルドラードIN森、そして葛布の滝へのコースとなった。しかし、穏やかな天候にめぐまれ気持ちのいいハイキングができた。特に、エルドラードIN森の近くにあるみことな大カエデは、赤から黄そして緑へと移る紅葉がすばらしかった。

ほとんど太田川の流域に住んでいらっしゃる参加者の方々に、車で通ることもあるが、こんなに身近な所に、溪流の美しい所があったとは、と驚かされていた。地元よさの再発見の場となつてよかった。ただ残念な事に、わざわざこういった溪流にゴミを捨てに来る人がいる。美しい自然をいつまでも残していくためにも、車でなく自分の足で歩き、目で見て、自然の恵みのすばらしさを体感してほしい。

〔袋井市 下川恭子〕



太田川水系マップ



エルドラードIN森付近の紅葉



参加者に説明する中山さん